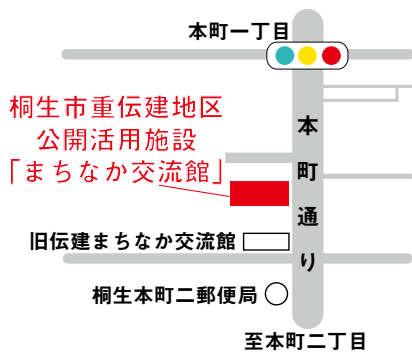




コンセプトは「使って、みせる建物」



桐生新町重要伝統的建造物群保存地区（桐生新町重伝建地区）の拠点となる施設として、桐生市重伝建地区公開活用施設「まちなか交流館」が7月9日（火）に開館します。ぜひお立ち寄りください。

場所〓本町一丁目7番4号
開館時間〓午前9時から午後5時まで（最終入館は午後4時30分まで）※7月9日（火）は午後1時から
休館日〓火曜日、祝日の翌々日、年末年始（12月28日から1月4日まで）
問い合わせ〓まちなか交流館（☎221122）、日本遺産活用室日本遺産活用担当（☎内線346）

7月9日（火）開館 「まちなか交流館」

見る
伝統的建造物の外観・庭のたたくまい・建物内部や修理方法の見学ができます。

知る
重伝建地区や桐生市の観光情報に関する情報発信をするほか、季節ごとに企画展示を行います。

企画展示「ジューヴェンケン」って、なに？
期間〓7月9日（火）から9月30日（月）まで

交流する
座敷・奥座敷・会議室や多目的広場は、有料で貸し出しを行います。
多目的広場では、キッチンカーの出店などもできます。

相談する
保存地区内の建造物の修理・新築・耐震、補助金、空き家・空き店舗などの相談を受け付けます。



おいでよ！桐生新町重伝建地区 重ね捺しスタンプラリー



日本遺産「かかあ天下〜ぐんまの絹物語〜」の魅力を知

っていたり、構文化

財の1つである「桐生新町重

伝建地区」を中心としたスタ

ンプラリーを開催します。

台紙に専用のスタンプを重ね

て押すことで絵柄を完成させ

る「重ね捺しスタンプラリー

」に参加して、桐生の魅力

を再発見してみませんか。

スタンプラリースポットに

は、新たに開館する「まちな

か交流館」も含まれています。

この機会に、ぜひ重伝建地区

にお越しください。

問い合わせ 日本遺産活用

室 日本遺産活用担当(☎内線

347)

◆期間

7月11日(木)から9月30

日(月)まで



◆スタンプラリースポット

①まちなか交流館

②有鄰館

③桐生天満宮

(①〜③は桐生新町重伝建地区内)

④ベーカリーカフェレンガ

⑤アースケア桐生が岡遊園地

※スタンプラリーを巡る順番

に決まりはありません。

②有鄰館



①まちなか交流館



⑤アースケア桐生が岡遊園地



④ベーカリーカフェレンガ



③桐生天満宮



◆参加方法

5か所のスタンプラリース

ポットまたは日本遺産活用室

(市役所3階)、シルク桐

生で「スタンプラリー台紙」

を受け取る。

各スポットを巡り、スタ

ンプラリー台紙を専用ガイドに

差し込み、位置を合わせてス

タンプを押す。

1枚の台紙に5つのスタ

ンプを重ね押しすると、1つの

絵柄が完成します。完成した

台紙は、ポストカードとして

利用できます。

◆粗品

5か所のスタンプをすべて

集め、「参加者アンケート」

に回答していただいた人へ粗

品を進呈します(先着150

人)。10月7日(月)までに

まちなか交流館または有鄰館

へ、完成したスタンプラリー

台紙をお持ちください。

こんにちは
市長です



女性・若者から選ばれる
桐生市検討委員会を設置

桐生市では、移住・定住の

ワンストップ相談窓口である

「桐生市移住支援フロント

むすびすむ桐生」の開設や

「きりゆう暮らし応援事業」

など各種施策の推進により、

人口減少対策に一定の効果

が出ているところです。しかし、

高齢化の進展や、若者、特に

若い女性の市外流出に起因す

る出生数の低下が、本市の将

来人口推計(自然減)に大き

な影響を与えています。

そこで、女性・若者の転

入・転出状況の改善や少子化

対策を検討するため、市役所

内に、関係課長などで構成す

る「女性・若者から選ばれる

桐生市検討委員会」を設置し

ました。この検討委員会では、

令和7年度以降の施策に反映

させるための提言書を取りま

とめ、より一層の人口減少対

策に取り組み、誰もが生き生

きと住み続けたいくなるまちの

実現を目指してまいります。

桐生市長 荒木 恵司